

平成 29 年度 第4回 政策決定会議 会議録①

-
- ◆開催日時:平成 29 年8月1日(火) 13:15~13:38
 - ◆開催場所:市長公室
 - ◆出席委員:信貴市長、大原副市長、根末副市長、樋口教育長
-

◆審議事項

- ・岸和田市交通まちづくりアクションプラン【基本計画編】・【公共交通編】について……………市街地整備課
⇒承認
-

◆審議概要

『岸和田市交通まちづくりアクションプラン【基本計画編】・【公共交通編】について』

〈説明者〉根末副市長

〈補助説明者〉春木福祉部長、津村魅力創造部長、大井まちづくり推進部長、澁谷建設部長、実森市街地整備課長、岸田交通政策担当主幹

◎根末副市長から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件、指摘があった点を修正したうえで政策決定会議に付議するよう指示した旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり説明。

【政策調整会議における議論内容】

■指示事項

- ・P.8に記載されている人口推計の出典を記載するよう指示。

■確認事項

- ・プランに基づく施策のうち、市の財政負担が発生する施策は、JR 東岸和田駅付近高架化事業やローズバスの運行等の既存施策に加え、地域バスや乗合タクシーに係る経費である。
- ・地域バスや乗合タクシーについては、試験運行により、地域のニーズを確認したうえで、詳細を検討していく。

◎説明後、質疑応答

〈市長〉決定会議後のスケジュールは如何。

〈市街地整備課長〉議会への説明の後、9月にパブコメを予定している。

〈市長〉議会の関心も高い案件である。十分に説明するように。

〈市街地整備課長〉承知した。

〈根末副市長〉本案件について、原案のとおり承認してよいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

平成 29 年 7 月 14 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 まちづくり推進部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市交通まちづくりアクションプラン【基本計画編】・【公共交通編】について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	これまでの交通施策は、増加する自動車交通に対応した道路整備等の交通インフラ整備、公共交通サービスの充実を中心に進めてきました。また、まちづくり政策は、市街地開発事業や土地利用規制などを通じて進められてきました。 今後は、交通政策とまちづくり政策を個別に進めるのではなく、一体的に進め、目指すまちの姿を実現させるための交通面からの施策を推進するために策定した「岸和田市交通まちづくりアクションプラン【基本計画編】・【公共交通編】」についてご審議を願うもの。
説明者	まちづくり推進部市街地整備課 課長 実森 伸一 まちづくり推進部市街地整備課 交通政策担当主幹 岸田 健治
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	平成29年度 第4回会議
付議事項	岸和田市交通まちづくりアクションプラン【基本計画編】・【公共交通編】について

★取組の目的

対象	市民、行政、交通事業者
どのような状態を目指す	まちづくりを推進していく視点から、交通面の施策を推進していく

★総合計画上の位置付け

106020106	基本目標	I-6 海から山までをつなげ、新しい価値と活力を創出する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(2)人や物が盛んに市内を行き交っている
	目指す成果	①市内の移動がスムーズにできている
	行政の役割	カ 公共交通機関を利用しやすい環境づくりを進める

★現状と課題

本市の公共交通の現状は、鉄道は南海本線・JR阪和線が都市部を南北に縦断しており計7つの鉄道駅があります。また路線バスは南海岸和田駅を起点として3つの谷筋に沿って山間部まで運行されています。しかし、鉄道駅やバス停までの距離がある地域や各谷筋・近隣市とを結ぶ交通も不便であり、地域活力が低下する要因となっています。
市内の公共交通活性化に向けた方策を整理し、各施設整備の状況に合わせ、将来的な発展を見据えた公共交通への取り組みを進めます。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H27年度	H28年度		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
法的要件に適合した会議体の設立	216	342	545	545	545	545	545	545
交通まちづくりアクションプランの策定	3,240	10,896	2,000					5,000
路線バス運行存続補助金(ローズバス)	23,500	26,000	26,000	26,000	25,000	25,000	25,000	25,000
路線バス運行存続補助金(路線バス)	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500
地域コミュニティ交通試験運行				4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
路線バス・コミュニティバスにICカード等導入支援	6,628							
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源	56,084	59,738	51,045	53,045	52,045	52,045	52,045
	その他							
事業費			計	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
			266,225	53,045	52,045	52,045	52,045	57,045

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度	目標値				
					H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
① 市内をスムーズに移動できると感じている市民の割合	%	33.0	30.6		37.0				
② 市内で運行されているバスの一日平均乗車人数	人/日	3,861	3,691	4,100					

※事業費及び人員を確約するものではない。